

Sessa

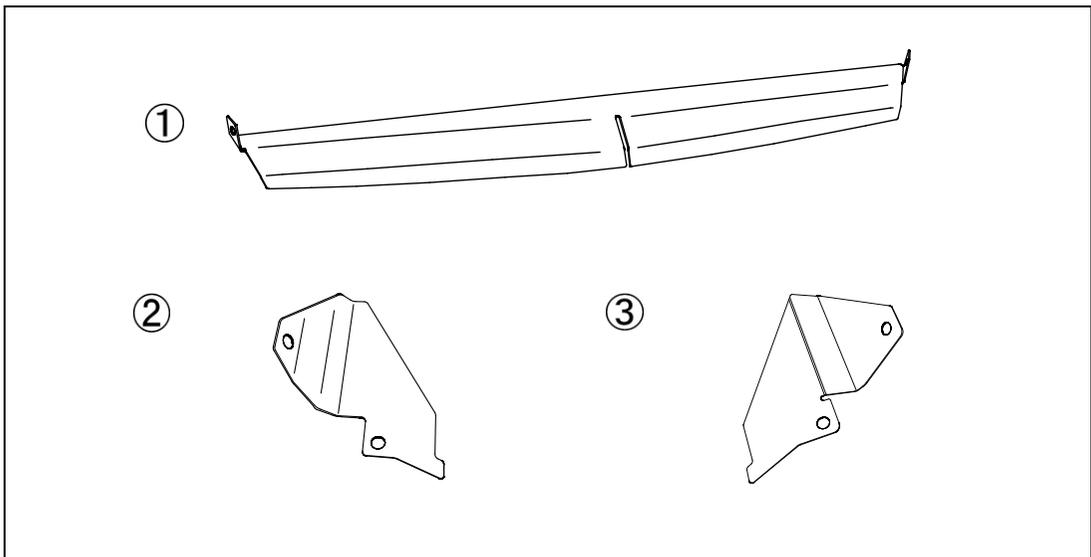
クーリングプレート 取り付け説明書

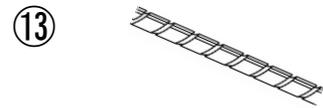
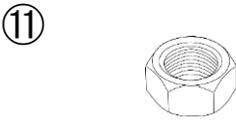
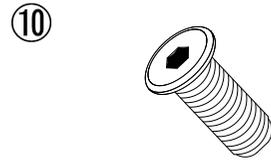
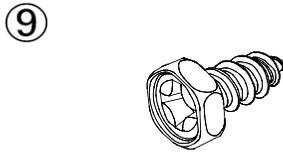
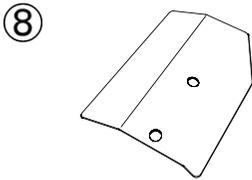
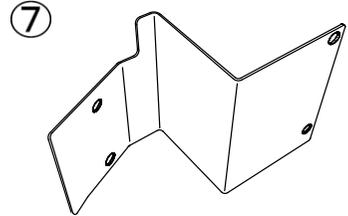
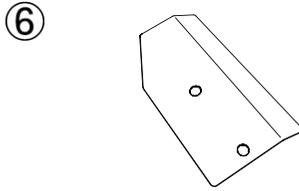
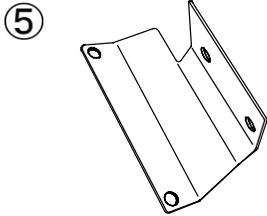
適用車種	アパルト595	エンジン型式	312A3
型式	ABA-31214T		
備考			
共通車種			

構成部品

◆ご使用前に破損がないこと、記載されている付属品が全て揃っていることをご確認ください。

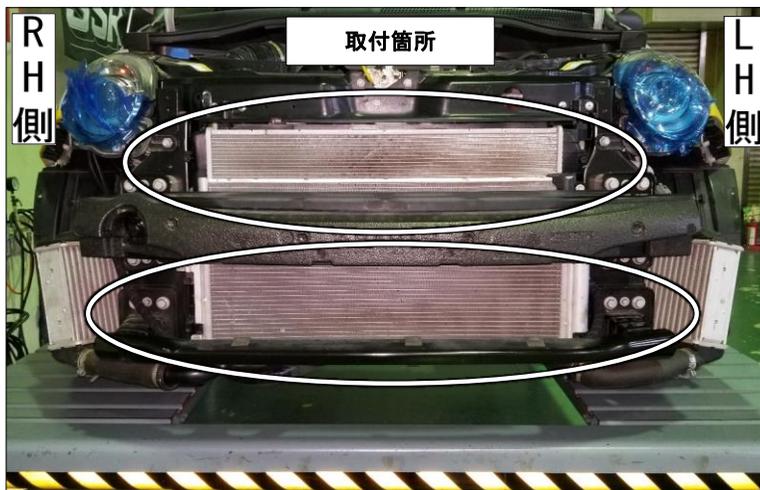
部品番号	部品名	品番	数量
①	クーリングプレート上側	RP-CLPAB500M-A	1
②	クーリングプレート上 RH側プレート	RP-CLPAB500M-AR	1
③	クーリングプレート上 LH側プレート	RP-CLPAB500M-AL	1
④	クーリングプレート下側	RP-CLPAB500M-B	1
⑤	クーリングプレート下 RH側プレート1	RP-CLPAB500M-BR1	1
⑥	クーリングプレート下 RH側プレート2	RP-CLPAB500M-BR2	1
⑦	クーリングプレート下 LH側プレート1	RP-CLPAB500M-BL1	1
⑧	クーリングプレート下 LH側プレート2	RP-CLPAB500M-BL2	1
⑨	M6タッピング(SUS)	M6X16 タッピングねじ	6
⑩	M6極低頭ボルト(SUS)	M6L12極低頭B	6
⑪	M6ナット(SUS)	M6N(SUS)	6
⑫	M6ワッシャー(SUS)	M6W(SUS)	12
⑬	スパイラルチューブ	スパイラルチューブL100	1
⑭	クッションテープ	クッションテープ 350mm	1





1、取付箇所をご確認ください。

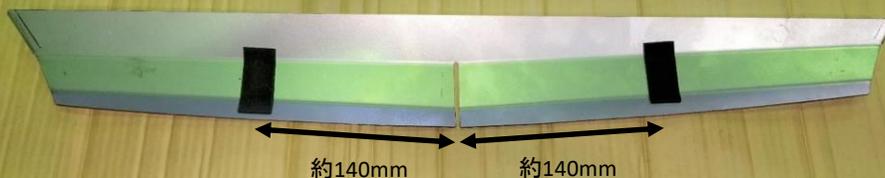
- ①フロントバンパーを取外し、取付箇所をご確認ください。※配線・クリップ等の破損に注意してください。写真〇部に装着します。



2、付属クッションテープを指定の寸法でカットし、指定の箇所に張り付けてください。

- ①付属のクッションテープを100mmを1枚、50mmを2枚、40mmを3枚、ハサミ等で切り出してください。
- ②指定の箇所をシリコンオフ等で脱脂して切り出したクッションテープを張り付けてください。
 部品①の裏側に50mmを2枚、写真を参考に張り付けてください。
 ※曲げ部にかかるように張り付けてください。
 ※脱脂にシンナー等の溶剤の使用は絶対に行わないでください。

部品① クッションテープ位置



※写真は裏面です

- 部品④の裏側に100mmを1枚、写真を参考に張り付けてください。

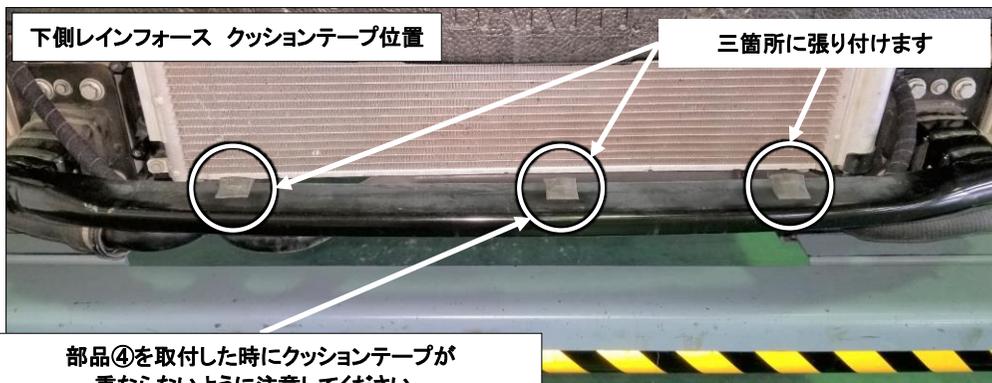
部品④ クッションテープ位置



※写真は裏面です

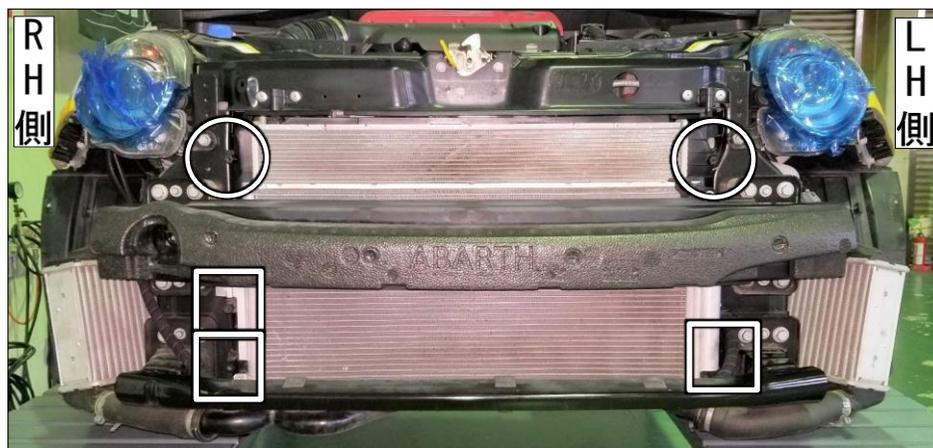
中心の前側に張り付けます

下側レインフォースについている配線固定クリップ3箇所に40mmで切ったクッションテープを貼り付けます。写真を参考に配線固定クリップを覆うように張り付けてください。



3. 指定のラジエーター穴部に付属M6タッピングでネジ山を立ててください。

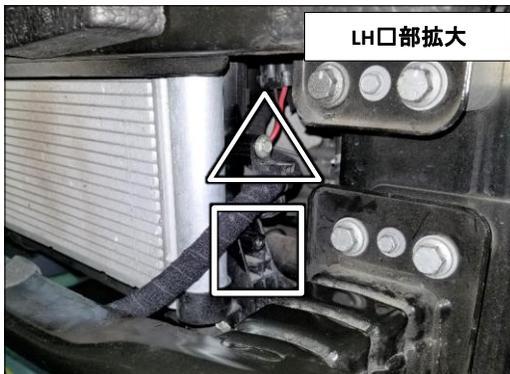
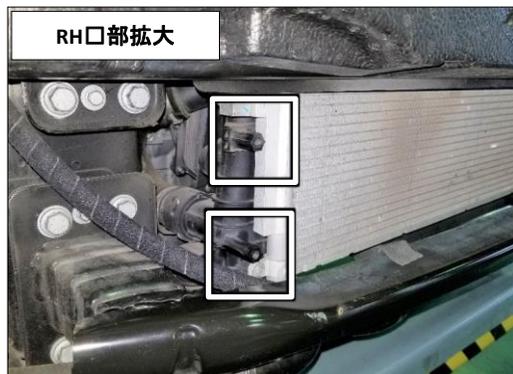
- ①写真○部2箇所と□部3箇所にシリコンスプレーを吹き付け、付属M6タッピングで10mmの工具を使用してネジ山を立ててください。5ページにある拡大写真も参考にして下さい。
 ※タッピングが斜めにならないように注意してください。
 ※下側はインタークーラーダクトを外すとアクセスしやすくなります。



※写真はインタークーラーダクトを取外した状態です

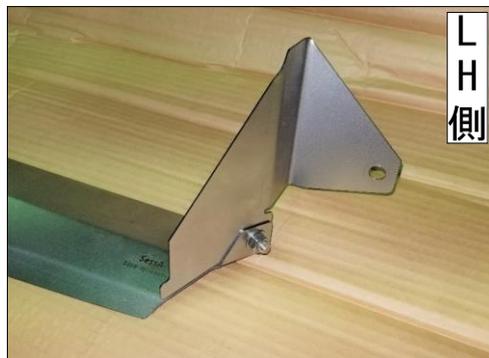
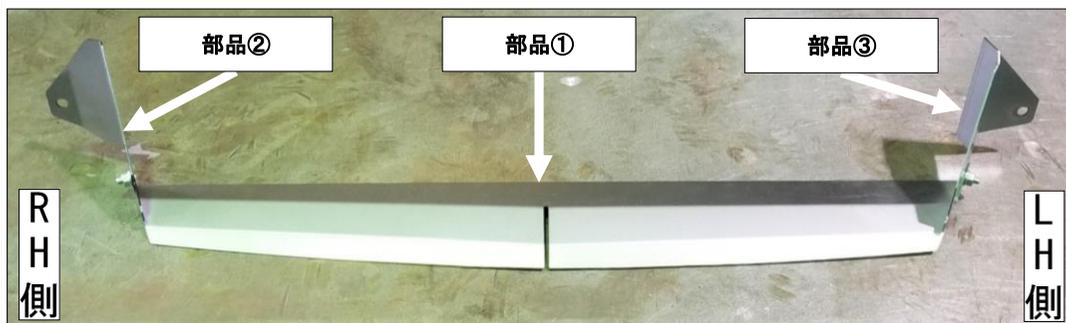


- ②LH口部拡大写真の△部にあるビスを8mmの工具で外してください。
 ※△部から取外した純正ビスは使用しないので大切に保管してください。



4、上側クーリングプレートを装着してください。

- ①M6極低頭ボルト・M6ワッシャー・M6ナットを使用して部品①に部品②、③を仮組みしてください。※左右プレートが内側になるように仮組みしてください。
 ※M6極低頭ボルトを内側から差し込み、ワッシャーはナット側に入れてください。
 ※10mmの工具と六角レンチ3mmを使用



② 仮組したプレートを装着箇所に設置し、写真○部2箇所を付属のM6タッピングとM6ワッシャーを使用して仮止めてください。

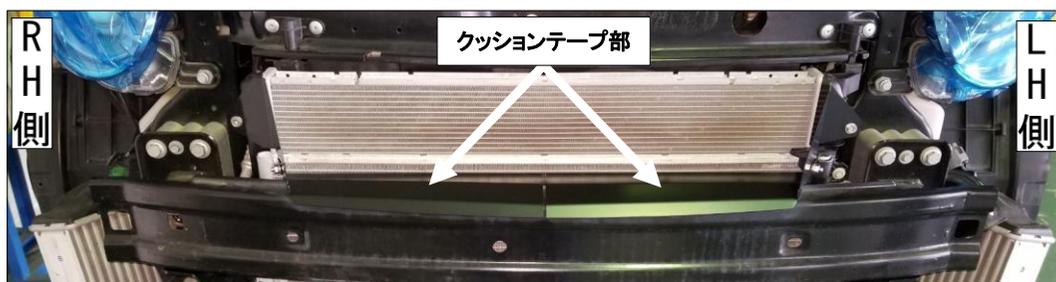
※タッピングを締める時は、タッピングを穴に当てて軽く押しながら緩める方向に回し、タッピングが穴にストンと入る場所から締めこんでください。調整せずに締めると新しいネジ山が出来てしまい締めこんだ時にネジ山が崩れやすくなり強度が落ちてしまいます。ご注意ください。



③ 裏にクッションテープのついている部分をレインフォースに押しつけた状態で左右プレートと部品①との隙間を1~2mmほど空くように取付部4箇所を増し締めを行ってください。

※M6タッピングを締付トルク5N・m、M6極低頭ボルトを締付トルク10N・mで締め付けてください。

※締め過ぎに注意してください。破損する恐れがあります。



5、下側クーリングプレートを装着してください。

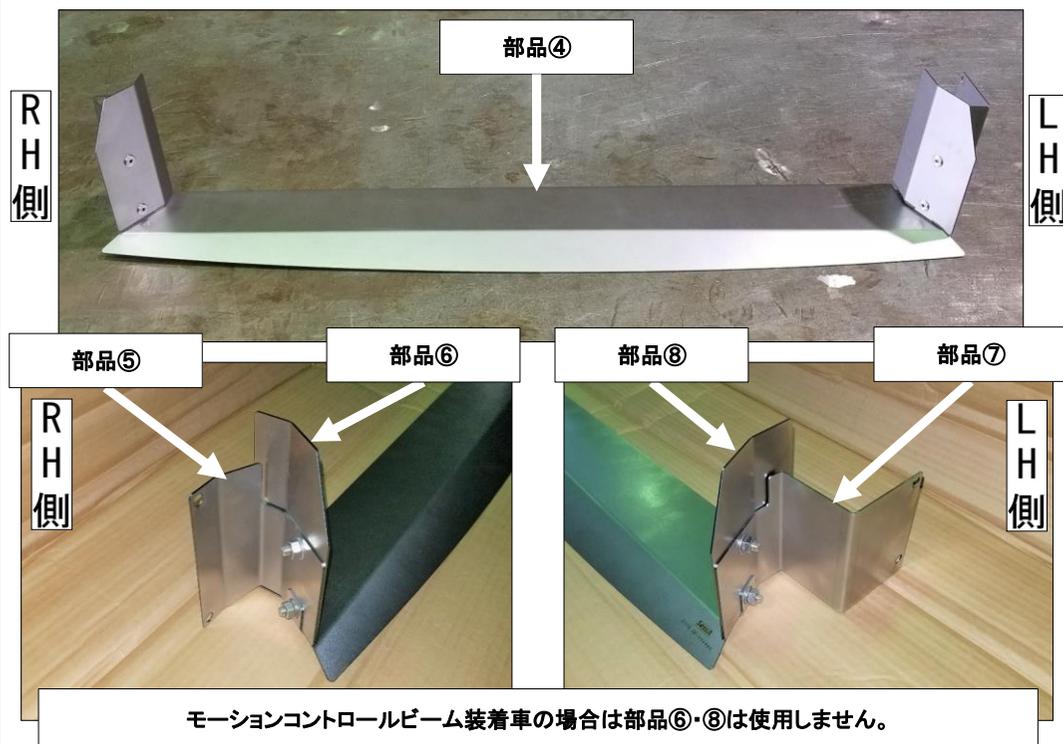
①写真を参考に付属のM6極低頭ボルト・M6ワッシャー・M6ナットを使用して部品④に部品⑤、⑥、⑦、⑧を仮組みしてください。

※左右プレートが内側になるように仮組みしてください。

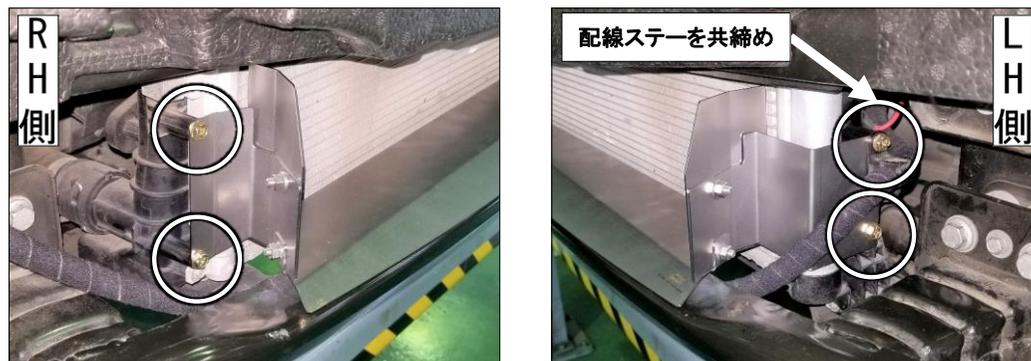
※M6極低頭ボルトを内側から差し込み、ワッシャーはナット側に入れてください。

※モーションコントロールビーム装着車は部品⑥と⑧は使用しません。

※10mmの工具と六角レンチ3mmを使用



②仮組みしたプレートを装着箇所を設置し、○部を付属のM6タッピングとM6ワッシャーで仮止めてください。
LH側の○部上側は配線ステーを共締めしてください。

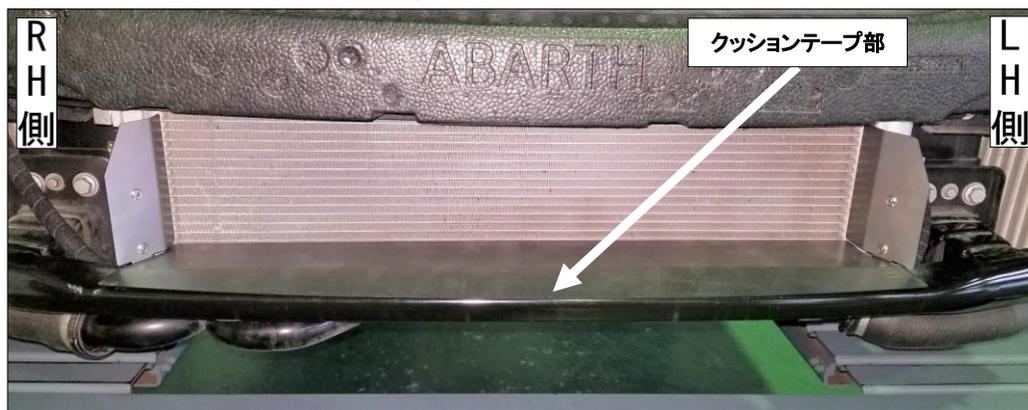


- ・モーションコントロールビーム装着車に取付を行う場合は穴隠しとして口部2箇所付属のM6極低頭ボルト・M6ワッシャー・M6ナットを使用してください。
- ※モーションコントロールビームに干渉する場合はモーションコントロールビームの取付ボルトを緩め、干渉のない位置で固定し直してください。

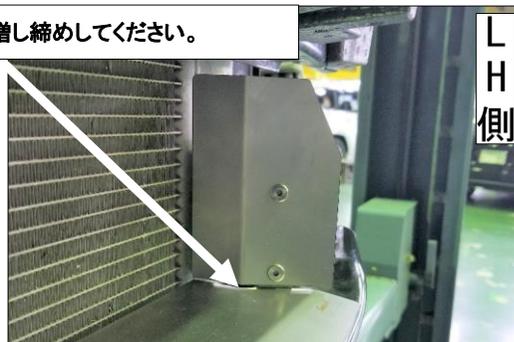
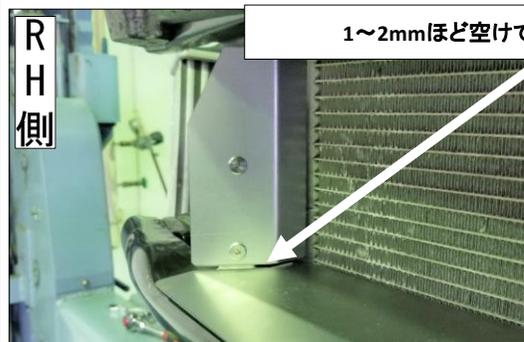
口部は穴隠しに付属ボルトを付けます



- ③裏にクッションテープのついている部分をレインフォースに押し付けた状態で左右各プレートと部品④との隙間を1~2mmほど空くように取付部8箇所増し締めを行ってください。
- ※M6タッピングを締付トルク5N・m、M6極低頭ボルトを締付トルク10N・mで締め付けてください。
- ※締め過ぎに注意してください。破損する恐れがあります。



1~2mmほど空けて増し締めしてください。



6、各部増し締め後、指定の箇所にスパイラルチューブを巻き付けてください。

①指定の配線にスパイラルチューブを巻き付けてください。

(最後のページにあるスパイラルチューブを取り付ける際の注意事項を参考に巻きつけてください。)



スパイラルチューブ巻き付け箇所

7、インタークーラーダクトとフロントバンパーを装着してください。

①各部締め忘れや異常が無いか確認し、インタークーラーダクトとフロントバンパーを取付して下さい。



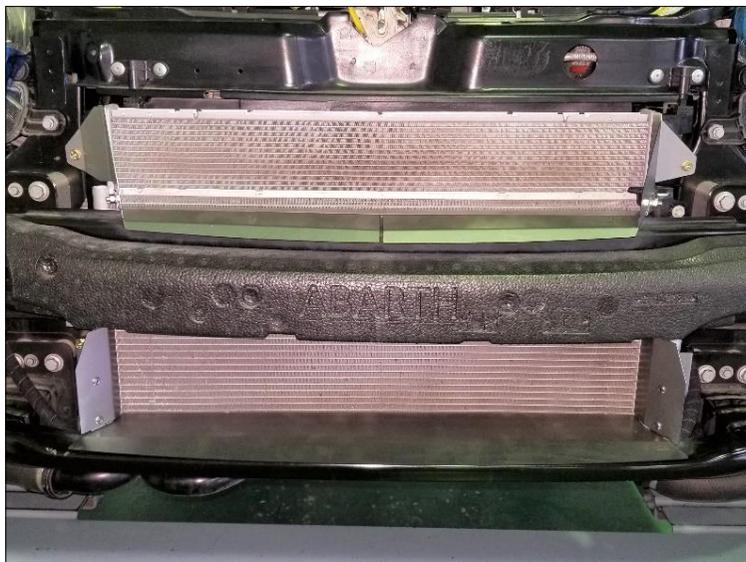
②フロントバンパー装着後、各灯火類の点灯・点滅を確認し、車両を前後に動かし異常が無いか確認後、取付完了です。

❗ 注意 ❗

※ 取り付け部のボルトは、振動によって緩んでくる恐れがありますので、定期的には増し締めを行ってください。

装着写真

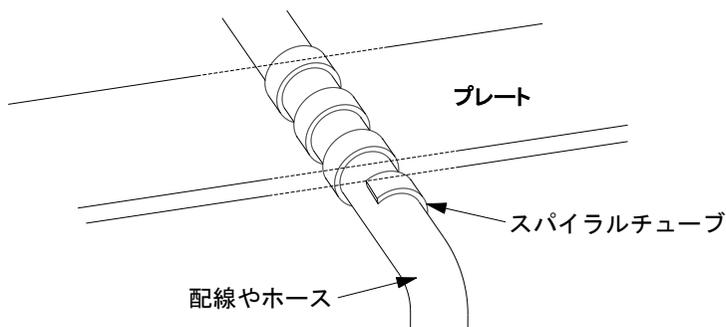
アバルト595 ABA-31214T



《スパイラルチューブを取り付ける際の注意事項》

- 一部車種において、当製品装着時に配線やホース等と距離が近くなる場合があります。そのような車種にはスパイラルチューブを付属しておりますので、下図を参考に距離が近くなっている部分に巻き付けて下さい。

付属スパイラルチューブの装着例



※必要に応じて長さを調整して下さい。

株式会社 レッドポイント
〒509-0104 岐阜県各務原市各務おがせ町5-239-3
TEL 058-370-5064 FAX 058-370-3655

クーリングプレート取扱説明書 《ご使用、ご装着前に必ずお読み下さい》

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本製品の使用者、装着作業の方には必ず本書をお読みの上、正しくご使用下さい。
- 本製品を別紙取り付け要領に記載している適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。
- 本書はいつでも確認できるように自動車の取扱説明書や整備手帳とともに大切に保管し、本製品または装着車輛を譲渡される場合は本書も必ず添付して下さい。
- 本製品の取付けについては、取付け業者が責任を負うこととなります。必ず本書及び自動車メーカー発行の「整備解説書」に従って作業を行って下さい。
- 取り付け及び取り外しは、設備の整った自動車整備工場(認証・指定工場)または、それに準ずる専門店にて行って下さい。
- お客様、または第三者の方が本製品及び付属品の誤使用やその他の不具合によって受けられた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
- 本製品は改良の為、予告なく仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。

目次

- ①使用上の注意事項
- ②装着作業時の注意事項
- ③装着後の注意事項

●別紙

車種別取り付け要領

●本書の中で使用されているマークと意味は以下のようになります。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

①使用上の注意事項

 警告	●本製品は絶対に加工や改造はしないで下さい。本製品や車輛の破損を招く恐れがあり大変危険です。
	●開発車輛と異なる装備、セッティングの車輛において、装着時に車輛への接触等の不具合が発生する恐れがあります。必ず走行前及び走行時及び走行前に接触がないかを確認して下さい。接触している場合には、物損や事故の原因となりますので必ず接触しないように修正して下さい。接触が避けられない場合はただちに装着を中止して下さい。
	●運転中に不具合(異音、振動等)が発生した場合には速やかに安全な場所に停止して点検するとともに、お近くの整備工場にて専門家による点検を受けて下さい。

②装着作業時の注意事項

- 装着作業は、自動車メーカー発行の「整備解説書」の作業手順を参考に作業して下さい。
- 取り外す全ての取り付け部品の状態や位置を確認し、取り付け状態を覚えておいて下さい。

 注意	●走行直後は、エンジン周辺パーツ等が高温になっております。火傷の危険性がありますので、各部が十分に冷えてから、耐性のある手袋、衣服で保護し十分注意して作業して下さい。
	●ボルト・ナットを外す前に、取付け部からゴミや砂等を取り除き、ボルト・ナットが堅い時は、無理に力を加えず、スプレー式等の浸透性潤滑油を十分しみ込ませて、緩みやすくした上で作業を行って下さい。
	●取り付けの際には仮止めを行い支持部分のボルト・ナットを均等に推奨締め付けトルクにて増し締めして下さい。

③装着後の注意事項

- 装着後、本製品の取り付け状態及び各ボルト、ナットの締め付け点検を行って下さい。

 注意	●本製品の装着部分のボルト、ナットは走行時の振動により緩んでくる恐れがあります。その為、定期的に推奨締め付けトルクにて増し締めを行うようにして下さい。
---	---

- 本製品を廃棄する場合は、自動車整備工場等の専門家にご相談下さい。